

# 仙台陣屋 かわら版

陣屋資料館を会場に、今年も春の風物詩である「麗しの雛人形展」が開幕しました。町内外の皆さまからお借りした段飾り、内裏雛、変わり雛など、31組の雛人形がちよつと早めの春を演出しています。

昭和初期の御殿がついた壮麗な七段飾りや、身近な日用品を材料に手作りした動物の変わり雛など、皆さまのご協力もあって、かなりバリエーションも豊富になってきました。ご家庭で長く大切に飾られてきたお人形には、それぞれに思い出深いエピソードがあるようです。例えば今年から飾っている内裏雛と三人官女のセットは、寄贈者のご両親が家計を遣り繰りしながら、少しずつ買い足していたものです。ご両親の思いと共に、季節の行事が大切にされていた時代的な背景にも、想像を巡らせることが出来るのではないのでしょうか。

## 春を告げるイベント はじまりました



### 第 105 号

(平成 26 年 3 月号)

発行：仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

2月8日(土)には、今年で4回目となる「お雛さま手作り体験教室」を行い、計28名が参加されました。定員を超えるお申込みが寄せられ、苦小牧市から来館される方も半数近くに迫るなど、人気のイベントとして定着しつつあります。この手作り雛の長所は短い時間で簡単に作れ、材料も揃えやすいことに加え、烏帽子や扇子などの小道具を取り替

えれば、オリジナルの七段飾りに仕上げることも難しくないのであります。来年も実施しますので、お気軽にご参加ください。

### 3月2日(日)は「お雛さま会」！！

楽しい催しものを用意してお待ちしています。ご家族揃ってご来館下さい。

時間：13:00～15:00

場所：仙台藩白老元陣屋資料館

企画：絵本の読み聞かせ／お抹茶点出し／甘酒とお菓子／折り紙のお雛さま作り／挑戦！お雛さまを飾ってみよう／雛祭りクイズ大会 など

# かけがえのない財産を守るために

『文化財防火デー』をご存知ですか？ 大切な文化財が火事などで焼失しないよう、施設設備の検査や防火訓練を行う日として文化庁が定めたものです。今から半世紀以上の昔、世界でも最古の木造建築物である法隆寺で火事が起こり、貴重な資料にも被害が及びました。過去の悲劇を繰り返さないよう、以来60年の間、『文化財防火デー』が実施されてきました。

白老町では1月23日～24日にかけて、指定文化財を保管する資料館・アイヌ民族博物館・白老八幡神社で消防職員による防火設備の点検が行われ、またアイヌ民族博物館では実際の火災を想定した消火訓練も実施されました。何故、このような寒い時期に放水まで含めた訓練をするのかというと、法隆寺の焼けた日が、まさに冬の一番乾燥が進む時期だったからです。2度と貴重な文化財を損失させないよう、関係者ばかりでなく、広く運動の意義と目的を知ってもらうためでもあります。



<初期消火(上)から放水(下)まで、素早く協力し合って訓練にあたりました>



## 資料の情報をお寄せ下さい

陣屋資料館では現在春先に開催する企画展の展示資料を探しています。

40年前、都市対抗野球大会で全国優勝した大昭和製紙白老工場の野球部は、北海道勢で初めて優勝旗を持ち帰るといって快挙を成し遂げました。白老はもちろん、北海道を歓喜の渦に巻き込んだ瞬間を、資料館を舞台に再現したいと考えています。また、併せて町内小・高等学校が各大会で活躍してきた実績も展示会で発信する予定です。写真や記念品、残っていればユニフォームなど、ご家庭やお知り合いの情報を教えてください。あなたの活躍の記録を、陣屋資料館からPRしてみませんか？ 沢山のご連絡をお待ちしております。

不定期連載 【陣屋再発見】  
“ 碧血丹心 ”

戊辰戦争の最中、白老の陣屋で統括役を任されていた三好監物は、新しい時代を見ることなく世を去りました。幕府に味方すると決めた藩の大勢に異を唱えていたためです。『碧血丹心』とは、真心や忠誠心を称えた言葉で、高潔な人物の血が死後に碧い玉となったという、中国の故事が由来です。明治初期、監物を知った政府の重鎮が、巻物状にしたためて監物の遺族へ渡しました。なお碧玉は実在する鉱物で、石英の結晶が集結したものです。それにしても、血が碧い玉になるという不思議な発想は、どのように誕生したのでしょうか？



「仙台陣屋かわら版 第105号(平成26年3月号)」

発行日:平成26年2月18日(火)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・亀井

<http://www.town.shiraai.hokkaido.jp/bunkai/jinya/>

Mail: [jinya@town.shiraai.jg.jp](mailto:jinya@town.shiraai.jg.jp)